

佳作 課長の指示



グエン ティ キム オアン
NGUYEN THI KIM OANH
国籍 ベトナム
職種 機械保全
実習実施者 三重 JR 株式会社
監理団体 日本テクニカルトレーニング協同組合

2年前、私はベトナムのセンターで7か月程日本語を勉強して、すごい自信を持っていました。日本に来たら、どんな仕事でもできると思いました。しかし、実際はそうではありませんでした。気付いたら、自分の努力はまだまだ足りないのです。

3日間、実習の見習いをしました。その時は先輩達が熱心に優しく教えてくれたおかげで、仕事がうまく行きました。ある日、初めて課長の指示を受けました。私は気が付きました。それは外国で働くとはそう簡単ではないことを。

私の住んでいる所は三重県で、ほぼ関西弁を使っています。日本語に自信のあった私は課長が何を言っているのかぜんぜん理解できませんでした。特に方言が難しいです。どう答えたらよいか困惑している私は組合で勉強した事を思い出しました。先生達は「理解できなかったら分かりません。」と返事するべきだと教えてくれました。ですから私は「すみません分かりません」とすぐに答えました。しかし、課長はちょっと怖い顔をして、ため息をついていました。その時は先輩が分かりやすく説明してくれました。

一週間後、だんだん仕事に慣れてきましたので、先輩は別の作業をしました。私は一人で仕事をしました。責任を持って、もっと頑張らなきゃと決心しました。私の会社はあまり大きくないので、課長は一人で皆の工程を管理しますから、いつも忙しく動いています。ある日、仕事が終わってから管理表を書こうとしていると、課長が「書かんでもええ」と言いました。課長がなぜ「書かんでもええ」と言ったのか私は理解しています。なぜなら、この日の作業は管理表に書かなくてもいい作業だったからです。その事は先輩に聞いて知っていました。しかし、頭でわかっているだけで、うまく返事ができない間に課長は行ってしまいました。私は戸惑って課長の姿を見ました。課長は次の作業台に立って隣にいたリーダーと2人で「たぶん日本語がわからんやろなあ」と私を見て笑ってました。でも私は「わかっていますよ。それは書く必要がないという意味じゃないですか?」と2人に言いたかったのですが、わかっているも答える事ができなかった自分が不甲斐なく悲しかったです。その時から、頭の中に強い意志がわきました。“勉強しなきゃ!!”聞き取れるだけでなく自分の思いをちゃんと伝えられるように関西弁や中級を勉強し始めました。その結果、皆と話せたり仕事も困る事が少なくなり2年目にN2に合格しました。

夢のない私は課長の指示のおかげで、夢を持つようになりました。目標を達成するため今、上級を勉強しています。必らず夢を叶えて「私は通訳者だ」と自信に溢れて言える日が来るように走り続けます。

課長、ありがとうございました。あと一年よろしくお願いします。